

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社 清心 児童発達支援・放課後等デイサービス はびたむ		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 7 月 29 日		～ 令和 6 年 8 月 23 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和 6 年 7 月 29 日		～ 令和 6 年 8 月 23 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 8 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム	・季節に合わせた行事やイベント、外出行事、高齢者との交流機会の提供などを年間行事に取り入れて実施している。また、日々のおやつに関しては、「手作りおやつ」にこだわりを持ち、食育をはじめ、安全な調理器具の使い方や達成感を育む活動として活発に行っている。	・それぞれの活動内容の写真を、定期的に保護者様にお伝えできるように、はびたむ通信以外の臨時便などを検討していく。 ・作る楽しみ、食べる楽しみだけでなく、作る過程での子ども同士の関わりの中で、主体性を発揮できるよう支援していく。
2	大きなプールがあり、夏季には毎日水遊びやプール遊びができる。	・学校でのプールの時間数が減ってきている中、はびたむでのプールを楽しみにしているお子さんが非常に多く見受けられる。安全管理を徹底した上で、プールに入れる期間を長めに設定するなどの工夫をしている。	・必要に応じて、水遊び用のおもちゃなども取り揃え、おもちゃの貸し借りやプールでの約束事などの指導をしている熱中症対策として、大きなタープを張り、安全対策を講じた上で、プール時間を楽しめるよう工夫している。
3	個別・集団・小集団での活動	・日々のプログラムは一つにしぼらず、子どもたちが活動の選択を出来るように支援している。また、ニーズに合わせて個別活動(療育)や小集団での活動(制作や手作りおやつ)、集団(集会・ゲームなど)を通して、多様な体験が出来るように支援している。	・学校授業日でも外出できるようなプログラムを検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校休業日の午前中からのご利用の定期化	・定員枠の中でかつ人員配置をした上で、今年から午前中からのお受入れを試験的に実施。午前中に「児童発達支援」を提供しているため、場合によっては時間に限りはあるが、延長ニーズに応えられるよう整えていく。	・送迎が行える日とそうでない日があるため、ご家族様の二重をよく把握した上で実施していく。
2	運動スペースが狭い	・曜日によって異なるが、区分によっては狭いと感じる事もある。特に高学年や思春期区分においては、運動を取り入れた集団でのゲームは、狭さを感じる。	・運動療育システムを使用することで、スペースの狭さを感じることなく楽しく運動できる。
3	学校授業日の外出行事	・学校休業日、学校休校日での外出行事は定期的の実施出来ているが、学校授業日の外出行事が出来ていない。	・下校時刻が違いため、到着時間に差がある。全体では出来なくても、小集団で出来るよう検討していく。